

## (15) 柔道

### 令和3年度 第56回群馬県高等学校総合体育大会柔道競技会 兼第69回関東高等学校柔道大会群馬県予選 実施要項

- 1 期日 令和3年5月14日(金)～5月15日(土)  
及び会場 ALSOK群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 第一道場  
前橋市関根町800 電話：027-234-5555
- 2 競技日程 令和3年5月14日(金) 10時30分～ 女子団体試合  
及び競技種目 5月15日(土) 10時30分～ 男子団体試合
- 3 競技規程 国際柔道連盟試合審判規定(最新版)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。  
(1) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。※僅差は「指導差2」とする。  
(2) 「技の内容」と「指導」の重みは以下の順とする。  
一本勝ち=反則勝ち>技有>僅差
- 4 新型コロナウイルス対策 本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドラン」に準じた万全の対策を講じること。
- 5 競技方法 (1) 団体試合  
ア 男子はトーナメント戦、女子はリーグ戦を行う。  
イ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定は以下の項目に従って決定する。  
① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。  
② ①で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。  
\*ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。  
③ ②で同等の場合は「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。  
④ ③で同等の場合は代表戦を行う。  
\*代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。  
\*代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。  
ただし勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。  
延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。  
ウ 試合時間は3分とする。(敗者復活戦、準決勝、決勝は4分)  
エ 男子順位決定戦(敗者復活戦)は次のように行う。  
準々決勝で敗れた4チームと、準決勝に進出したチームと対戦し最も勝敗差の少なかった4チーム(但し、同じ差の場合、得点内容をみる。一本勝ち…10点、技有勝ち…5点、僅差勝ち…1点とし、点差が少ないチームが出場する。点差でも同じ場合は対戦が後のチームとする)の8チームで順位決定戦(敗者復活戦)を行う。  
オ 女子リーグ戦は次のように行う。  
① 各試合において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。  
② リーグ戦後、同点で1位となったチームが2チームの場合は本戦の結果による。3チーム以上の場合は、代表戦を抽選によるトーナメント方式で行う。  
カ 男子は順位決定戦(敗者復活戦)、女子はリーグ戦の結果を総体得点とする。
- 6 引率・監督 (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(但し、公立学校にあっては教員とする。)また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。  
(2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。  
(3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 7 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
(2) 本連盟柔道専門部に登録をした者。

- (3) 年齢は平成14年(2002年)4月2日以降に生まれた者とする。但し同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。
- (6) 参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は「健康状態申告書」を提出すること。

8 出場制限

(1) 男子団体試合

1校1チーム(定時制課程、通信制課程が出場する場合2又は3チーム)監督1名、選手5名、(先鋒から軽量級3名、無差別2名)、補員2名(軽・無差別各1名)の8名とする。

軽量級は73kg以下とし、補員の出場は登録した階級に限る。

外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

(2) 女子団体試合

1校1チーム監督1名、選手3名(先鋒から軽量級2名、重量級1名)、補員2名(軽・重量級各1名)の6名とする。但し、重量級の者がいない場合、軽量級の者が重量級に出場することができる。軽量級は

57kg以下とする。但し、補員の出場は登録した階級に限る。

外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

9 大会中止条件

群馬県高等学校体育連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業大会等実施ガイドライン」の「2. 県高体連主催大会再開に当たっての基本的考え方」に示されている開催条件が整わない場合。県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。その他、群馬県教育委員会又は群馬県高等学校体育連盟より大会の中止指示等があった場合。

10 組合せ

4月28日(水)9時30分より県立勢多農林高等学校で常任委員が行う。

11 表彰

各校顧問を通じて以下を授与する。

- (1) 優勝校に優勝盾(持ち回り)を、男子は1~5位、女子は1~4位に表彰状を授与する。

12 申し込み

別冊申込書の各一部を各高等学校でとりまとめて、参加校すべて4月23日(金)午後2時までに下記まで申し込みをする。

〒371-0805 前橋市南町4-35-1 県立前橋商業高校内 群馬県高等学校体育連盟事務局

なお、同じ内容のものを下記宛に、Eメールにて23日(金)までに申し込む。

利根実業高校 福田 隆行 メールアドレス [fukuta-8836@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:fukuta-8836@edu-g.gsn.ed.jp)

13 関東大会

出場権

男子団体上位5校、女子団体試合上位2校は、6月12日(土)、13日(日)に甲府市で行われる第69回関東高等学校柔道大会の出場権を得る。但し団体戦における選手の人数は、男子は5名、女子は3名が出場の条件となる。

14 選手変更

13日の午後5時までに委員長に連絡する。大会当日、校長の証明書・医師の診断書・柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。補欠の補充は各階級1名までとし、伝染病その他天災による場合特例を認める。

15 受付

大会当日、監督及び選手がぐんま武道館2階玄関にて、9時00分~9時15分までに行う。

16 計量

男子は5月15日(土)、女子は5月14日(金)午前9時20分~9時50分に試合会場で行う。

(時間内計量、無差別は行わない)

17 監督会議

大会当日10時00分より、14日(金)、15日(土)は両日とも第4会議室にて行う。

18 その他

- (1) 別紙「感染防止ガイドライン」の内容を確認のうえ、遵守する。
- (2) 開会式、表彰式は行わない。
- (3) 選手は所定のゼッケンをつける。女子は白で無地のTシャツを着用する。
- (4) 男子団体試合上位8校、女子団体試合上位4校はインターハイ予選のシード権を得る。
- (5) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
  - 1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - 2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
  - 3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - 4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (6) 貴重品の管理は各自で行うこと。
- (7) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (8) 無観客試合とする。(保護者は入場できない)
- (9) 選手・各校補助生徒は試合終了後、速やかに退館する。
- (10) 声を出しての応援は禁止する(拍手は可)。